

2025年12月16日

各 位

株式会社三井住友銀行

エクシオグループ株式会社への「サステナビリティ・リンク・ローン」の実施について

株式会社三井住友銀行（頭取CEO：福留 朗裕）は、エクシオグループ株式会社（代表取締役社長：梶村 啓吾/以下、「エクシオグループ」）に対し、サステナビリティ・リンク・ローン（以下、「本ローン」）を実施いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手のサステナビリティ戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、「SPTs」）を設定し、貸出条件とSPTsに対する借り手のパフォーマンスとを連携させ、SPTs達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動及び経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

エクシオグループは1954年設立の大手通信工事会社です。同社は、「技術力を培う 豊かさを求める 社会に貢献する」という企業理念のもと、2021年5月に公表した「2030ビジョン」において「ESG経営の実践」を挑戦の一つとして掲げ、中期経営計画（2021-2025）においても環境・社会・ガバナンスのそれぞれについてKPIを設定し、計画的・継続的に取り組みを進めています。GHG排出量の削減をはじめとする環境に配慮した経営の実践とともに、再生可能エネルギー事業などを通じて気候変動に関する社会課題の解決に貢献できるよう積極的に取り組む方針を掲げています。

またエクシオグループは、2022年11月に「サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク」（以下、「本フレームワーク」）を策定（2024年8月に改定）しています。本フレームワークでは、中期経営計画（2021-2025）で掲げられた取組課題に基づき、GHG排出量の削減がKPI及びSPTsとして採り入れられています。本ローンでは、本フレームワークに基づくSPTsを定め、達成への動機付けとして、SPTs未達成時に、エクシオグループが脱炭素社会の実現に資する活動を実施している組織に対して寄付を行うという貸出条件が設定されています。

尚、本フレームワークは、国際金融業界団体の、ICMA（International Capital Market Association）にて策定された「サステナビリティ・リンク・ボンド原則」、LMA（Loan Market Association）、LSTA（Loan Syndications and Trading Association）及びAPLMA（Asia Pacific Loan Market Association）にて策定された「サステナビリティ・リンク・ローン原則」、環境省にて策定された「サステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン」、「サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」において求められる項目について基準を満たしているとの第三者意見を、株式会社日本格付研究所（JCR）より取得しています。

株式会社三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話をを行い、持続可能な社会及び市場の形成に一層貢献してまいります。

【本ローンの概要】

契約締結日	2025年12月12日
実行日	2025年12月16日
貸付人	株式会社三井住友銀行
SPTs	GHG 排出量 (Scope1+2) を 2027 年度に 2020 年度比 30.73% 削減

(参考)

エクシオグループ株式会社ホームページ：
<https://www.exeo.co.jp/>をご参照ください。

株式会社日本格付研究所（JCR）による第三者意見：
<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>をご参照ください。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】
法人戦略部サステナブルソリューション室
TEL：03-4333-6965

このお知らせは、投資や勧誘を推奨すること目的としたものではありません。